

特別活動

第3学年

竹原市立竹原中学校

教諭 村上 務

題
材

目指せ三冠王！！ ～文化祭に向けた賞を作る～

育成する資質能力

主体性

- 1 日 時 令和元年10月10日(木) 5校時(14:05～14:55)
- 2 学 年 第3学年B組(男子:17名 女子:20名 計37名)
- 3 場 所 3学年B組教室
- 4 題材について

【人権教育の視点】

自他の良さを認め合い、互いを尊重し、協働することを通して、自己存在感や自己肯定感を高められるようにし、より豊かな人間関係を築く素地の育成を図る。

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、あいさつもよくできる元気な生徒が多い。運動会練習でも、どのクラスよりも自主練習を早く始めるだけでなく、一番多くの生徒が参加して協力できる集団である。しかし、クラスメイトの良いところを言える生徒は100%であったのに対して、自分の良いところを言える生徒は約50%であった。これらは、周りに合わせて行動でき、互いを思いやり認め合うことはできるが、多様な人との関わりの中で、自分の良さを出していく経験が少ないためだと考える。

(2) 題材設定の理由

第3学年になって半年が過ぎ、運動会という大きな行事を協力して乗り越え、集団として落ち着いた時期である。行事や学校生活の中で、いけないことはいけないと言える生徒も増え、学級ルールも落ち着いているが、仲間と褒め合う場面は少ない。そのため、事前アンケートに見られるように、他者の良い所は見つけることができるが、自分の良い所を見付ける自己肯定感が高い生徒が少ないという実態がある。これを解決するためには、生徒自身がお互いを褒め合い、自己存在感を高められる場面を設定することが不可欠である。自他の良さを認め合い、互いを尊重し、協働することを通して、互いの良さを発揮しながら集団生活を送らせていきたい。そこで、このような課題をよりよく解決していきたいと考え、本題材を設定した。

5 題材のねらい

- ・自他の良さを認め合いながら一つの目標に向かって学級がまとまって取り組もうとする態度を育てることができる。
- ・他者を評価するための視点を自ら考え、自分たちで作った視点を利用して、他者を肯定的に評価することを通して、互いの良さを発揮しながら集団生活を送ることができる。

6 評価の視点と本実践における評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての思 考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わ る問題に関心をもち、自主的、自 律的に日常生活を送ろうとしてい る。	日常生活における自己の課題 を見出し、自己を生かしなが ら、より良い解決方法を考え、判断 し、実践している。	集団や社会への適応及び健 康で安全な生活を送ることの 大切さや実践の仕方、自他の成 長などについて理解している。

7 育成しようとする資質・能力とのかかわり

資質・能力	本題材とのかかわり
主体性	・自分で考えた賞を班でより良くまとめ、文化祭後に実際に肯定的評 価をすることができる。

8 ユニバーサルデザイン化に向けて

視覚化	運動会の映像で当時の様子を思い出し、ゴールのイメージをもたせる。 ステップチャートで学習の流れを提示し、見通しをもたせる。
共有化	個人で考えた意見を班で共有し、検討させる際、根拠をもとに話し合いを行わせること、 相手の考えをより深く理解させたり、自分の考えを改めて整理させたりする。
焦点化	班で意見をまとめる際、短冊に書かせることで、話し合いの結果を可視化するとともに、授 業後に掲示し、文化祭の取組期間に、何度も確認できるようにする。

9 指導計画

時	学習内容	評価				
		観点			評価規準	評価方法
		関	考	知		
1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の振り返りから思い出に残る文化祭にするためにどんな賞が必要か考える。 ・個人が出した案から、班ごとに意見をまとめて発表をする。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・自他の良さを認め合いながら一つの目標に向かって学級がまとまって取り組もうとしている。 ・他の生徒の意見やその理由を尊重しながら、よりよくまとめている。 	発言 行動観察 ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭を振り返ることで、クラスメイトの良い所を思い出す。 ・クラスメイトに送りたい賞について根拠をもって考えていく。 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスメイトに合った肯定的な評価を根拠をもって考えることができている。 	ワークシート

10 本時の指導と生徒の活動

(1) 本時のねらい

- ・思い出に残る文化祭にするために、クラスの友だちに送る賞を考えることを通して、自他の良さを認め合いながら一つの目標に向かって学級がまとまって取り組もうとする態度を育てる。
- ・他の生徒の意見やその理由を尊重しながら、より良くまとめることができる。

(2) 展開

活動の内容	指導上の留意点(◇) 配慮を要する生徒への支援(◆)	目指す生徒の姿 (評価方法)
<p>1 本時の見通しをもつ。</p> <p>①運動会の振り返り映像を見る。</p> <p>②運動会で一人一人の頑張りや良さを記入した一覧を配る。</p> <p>③本時のめあてを確認し、見通しをもつ。</p>	<p>◇運動会を想起させることを通して、文化祭に向けての意欲を高めていく。</p> <p>能動的な学びにつなげる 【資料を参考にし、自ら考えるイメージを作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にして自分の考えを書く際のモデルになるようにし、意欲的に考えさせる。 ・ステップチャートで学習の流れを提示し、見通しをもたせる。 	
<p>めあて：思い出に残る文化祭にするため、クラスの友だちに送る賞を考えよう！！</p>		
<p>2 個人で考えた意見をグループでまとめて紹介する。</p> <p>①個人で思考し、賞を書く。</p> <p>②グループで協議を行い班の意見を書く。</p>	<p>◆運動会の資料を参考にして考えても良いことを伝える。</p> <p>◇前提として、自分がもらっても嬉しいかを確認させる。</p> <p>◇その賞がなぜ重要か、文化祭までの取組をイメージさせ、根拠をもった考えにさせる。</p>	<p>他の生徒の意見やその理由を尊重しながら、より良くまとめている。(ワークシート)</p>
<p>話し合いの目的を明確にし、思考を深める 【誰かの意見が全てではなく、より発展させる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目的を大切にし、自分だけでは思いつかなかった考え方に気付かせ、その理由付けをさせる。 		
<p>グループで賞を協議する際、自分の考えを伝えたり、他者の意見を伝えたりしながら、自他の考えや根拠の良さに気付くとともに、それら全てを尊重しながら合意形成を図ろうとする姿。</p>		
<p>③グループごとに発表する。</p> <p>3 本時のまとめを行う。</p> <p>①話し合いを振り返り、意思決定を行う。</p>	<p>◇他者に伝わるように根拠を示して説明させる。</p> <p>◇個人で何ができるか考え、意思決定したことをもとに実践していけるようにする。</p>	<p>自他の良さを認め合いながら一つの目標に向かって学級がまとまって取り組もうとしている。(発言、行動観察、ワークシート)</p>